

青森・岩手・秋田で避難生活を送られている皆さまへ

～ 北東北拠点だより ～

6月号

爽やかな初夏の風が吹き抜ける
季節となりました

皆様 お変わりなくお過ごしでしょうか



～秋田拠点～

福島県から青森・岩手・秋田に避難されている皆さまの日ごろの悩みごとや今後の生活への不安などのお話を伺いながら、一緒に考え、安心して暮らしていただけるようお手伝いしていきたいと思っています。

また、避難されている皆さま同士が交流できるイベントの開催など様々な活動を行っております。

今年度の交流会の予定

- ◆ 青森交流会 in 八戸 決定
日 時: 7月4日(土) 13:30～15:30
会 場: ユートリー 八戸市一番町1-9-22
- ◆ 秋田交流会 決定
日 時: 9月19日(土)
会 場: 秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」
秋田市上北手荒巻字堺切24-2
- ◆ 岩手交流会
日 時: 11月中旬 予定
会 場: 青山コミュニティ番屋
盛岡市南青山町2-1
- ◆ 3.11秋田交流会「語り継ごう in あきた」決定
日 時: 令和9年3月11日(木) 14:00～
会 場: 秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」
秋田市上北手荒巻字堺切24-2

※日程等、詳細についてはチラシでご案内いたします。

交流レターのアンケートに、ご協力いただき ありがとうございました。(発送:90通 返信:17通)

- ◆ 現在の生活での困り事・不安なことについて
①健康のこと 41% ②仕事のこと 11%
③住まいのこと 5%
- ◆ 支援機関に相談したいことがありますか
ある 30% ない 64%
- ◆ 地域イベント・交流会の参加したことがありますか
ある 64% ない 30%
- ◆ 今後参加したいイベント等は?
「地域のお祭や子ども食堂、郷土料理教室」
- ◆ 自由記述について
・現在の福島のことを知りたい
・やっぱり福島に帰りたい
・交流会を楽しみにしている … 等

いただいたご意見は、今年度の交流会や個別訪問等に活かしてまいります。
◎随時ご相談等をお受けしておりますので、遠慮なく、ご連絡ください。

スタッフ紹介



NPO法人あきたパートナーシップの スタッフです

「福島県県外避難者への相談・交流支援事業」の担当は、
畠山・千田・田口が対応させていただいております。

どんなことでも
お気軽にご相談ください

ご報告

3.11 秋田交流会 語り継ごう in あきた「私たちの未来へ」

令和8年3月11日(水) 14:00～16:00 秋田市「遊学舎」

秋田に避難されている方々が集まり、健康のこと、日頃の生活のことを話題に交流しました。

音楽イベントは佐々木雅子さんと日本のうたを歌う会の皆さんによる「未来につなぐ、祈りの光～春風にのせた歌声とフルートの調べ～」を披露していただきました。

参加者からは「フルートの音色に癒されました」「ハンドマッサージ、心も温まりました」「毎年この交流会を開いてもらいたい」等の声がありました。

毎年迎える「3月11日」は特別な日。「震災の記憶はあの日のまま」と話す方や、「福島のことでは忘れたことがない」と話す方も…。また今回、15年を経て初めて参加した方もおり、それぞれの思いを胸に交流しました。



音楽イベント



黙祷



ハンドマッサージ

あれから15年『あの日を忘れない』～当時の記録～

共催：秋田県総務部総合防災課 被災者支援チーム

ご案内

青森交流会 in 八戸



“夏の花の寄植え”を
しながら交流します

ぜひ、ご参加
ください!

日時 7月4日(土) 13:30～15:30

会場 八戸 ユートリー 5F異業種交流室
八戸市一番町1-9-22

詳細については、後日チラシでお知らせいたします。

毎日の口腔ケアのポイント

●効率的なブラッシングの順番

奥歯の外側から始め、内側、噛み合わせ面の順に磨きにくい部分から磨く

●フロス(歯間掃除)は歯磨きの前

先にフロスを通すと歯垢が押し出され、歯ブラシによる除去率が高まり、フッ素濃度も上昇する

●力加減

鉛筆を持つような軽い力で、細かく振動させるように磨く

●すすぎ

歯磨き後のうがいは、ペットボトルキャップ1杯程度の少量で1回行くと、フッ素が残りやすい

効果的な
歯磨きケアの
順番

フロス

(歯間掃除)

歯ブラシ

(全体)

マウスウォッシュ

(仕上げ)

はみがき
しよう!



ひだりうえ おくば



ひだりうえ そとかわ



みぎした おくば



うえの まえは



ぶくぶく うがい



ひだりした おくば



みぎした そとかわ



べっ



したの まえは



ひだりした そとかわ



ブラシを あらう



みぎうえ おくば



みぎうえ そとかわ



おしまい

コラム

5月最終土曜日の早朝、雨が心配な空を仰ぎながら、いざ八郎湖へ

秋田県に広がる広大な八郎湖。干拓前は琵琶湖に次ぐ2番目の広さを誇り、かつては豊かな漁場として知られたこの湖も、近年は「水質汚染」や「アオコ」といった言葉と共に語られることが多くなり、特に夏場、気温の上昇とともに湖面が緑色に染まる光景は、地域の深刻な課題となっています。実際、湖にはどんな生き物がすんでいるのか、子どもたちと一緒に湖に入って、湖岸の生き物探しを体験しました。

見つけました! ナマズの赤ちゃんや、エビの赤ちゃん、ザリガニも

もう、一か所の水質が安定しているため池も探検。水を覗くと、そこには元気に動き回る多くのミジンコが確認されました。彼らは、湖を緑に変えてしまう「アオコ」やプランクトンを食べて、水を浄化してくれる大切な役割を担っています。いわば、湖の健康を守る「小さな救世主」です。

アオコの大量発生によってワカサギやシラウオといった在来種が姿を消しつつある今、この小さな生き物の力を借りて行政、学校、NPO、地域、企業などが連携して湖の再生に取り組んでいます。

「八郎湖はただ汚れた場所ではなく、子供たちが生き物と触れ合い、学べる場所なんだ」。主催者の言葉には、かつての豊かな湖を取り戻したいという切実な願いと、未来への希望が込められていました。

美しい水面を取り戻すまでの道のりは、決して平坦ではありません。しかし、ミジンコのような小さな命の働きを知り、湖の現状に目を向けること。その一歩一歩が、いつか再び、澄んだ水に魚たちが泳ぐ八郎湖を形作っていくはずです。

私たちの足元にある、このかけがえのない生態系をどう守り、次世代に繋いでいくか。顕微鏡の中を泳ぐ小さな命が、私たちに大切な問いを投げかけています。(畠)



【運営・発行元】

NPO法人あきたパートナーシップ

〒010-1403 秋田県秋田市上北手荒巻字堺切24-2(遊学舎内)

TEL018-829-2140 FAX018-829-5803

Email:info2340@akita-partnership.jp

